

製品名: BRCC36 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85359**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

遺伝子名	BRCC36
別名	C6.1A; BRCC36; CXorf53
遺伝子 ID	79184.0
SwissProt ID	P46736
免疫原	ヒト BRCC36 の合成ペプチド

背景

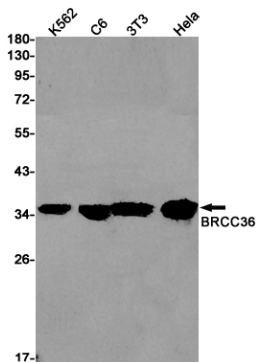
'Lys-63' 結合ポリユビキチン鎖を特異的に切断するメタロプロテアーゼ (PubMed:19214193, PubMed:20656690,

PubMed:24075985, PubMed:26344097) 。'Lys-48'結合ポリユビキチン鎖には活性を持たない。BRCA1-A 複合体の構成要素であり、DNA 損傷部位において'Lys-63'結合ユビキチン化ヒストン H2A および H2AX を特異的に認識し、BRCA1-BARD1 ヘテロダイマーを二本鎖切断 (DSB) による DNA 損傷部位へと誘導する。BRCA1-A 複合体において、ヒストン H2A および H2AX 上の「Lys-63」結合ユビキチンを特異的に除去し、二本鎖切断 (DSB) における RNF8 依存性ユビキチン化を阻害します (PubMed:20656690) 。BRISC 複合体の触媒サブユニットであり、様々な基質中の「Lys-63」結合ユビキチンを特異的に切断する多タンパク質複合体です (PubMed:20656690、PubMed:24075985、PubMed:26344097、PubMed:26195665) 。BRISC 複合体と CSN 複合体との相互作用を介して、COP9 シグナロソーム複合体 (CSN) に関連する「Lys-63」特異的脱ユビキチン化を媒介する (PubMed:19214193) 。BRISC 複合体は、NUMA1 の脱ユビキチン化を介して、正常な有糸分裂紡錘体の組み立てと動原体への微小管の付着に必須である (PubMed:26195665) 。インターフェロン受容体 IFNAR1 の脱ユビキチン化を介してインターフェロンシグナル伝達にも関与する。脱ユビキチン化は、IFNAR1 の安定性と細胞表面発現を高めることで IFNAR1 の活性を高める (PubMed:24075985、PubMed:26344097) 。IFNAR1 の脱ユビキチン化における役割を介して、細菌性リポ多糖 (LPS) への応答を下方制御します (PubMed:24075985)。

研究分野

-

画像データ



BRCC36 抗体を使用したラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の BRCC36 のウエスタンブロット分析。